

# 事業評価シート

番号 2340980 - 007

## 【1.基本情報】

事業名	新春ぎふシティマラソン大会				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市体育協会	
実施期間	昭和25年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	昭和25年の越年マラソン大会に始まり、過去には高橋尚子さんが出場し優勝している歴史深い大会であり、市民が気軽に参加できるマラソン大会として継続すべき事業である。	
事業の内容	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。	
事業の対象	何を	マラソン大会を
	誰に (対象者・対象者数)	小学生以上の健康な市民(車椅子の方も可)
	どのくらい (具体的 数値で)	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。
平成30年度 (実施内容)	757人が参加し、8部門を開催した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,520	50	1,585	50	1,585	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,520	50	1,585	50	1,585	50

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,277	1,363	1,362
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	役員報酬	339	359	331
	事業用品費	365	460	299
	印刷製本費	157	165	157
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,277	1,363	1,362

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,797	2,948	2,947

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,797	2,948	2,947

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	972	694	757
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,878	4,248	3,893

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	申込人数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	1,250	1,250	1,250
実績値	1,187	1,182	923

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者人数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	972	694	757

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高めるよい機会となっている。  市民を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であるとする。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料・適切なコース設定によって、市民にとって身近で誰もが気軽に参加できる大会となっている。  スポーツ推進委員やスポーツ指導員などの協力を得ながら実施しているため、すべてを民間化するのは難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	2020年東京オリ・パラや働き方改革の機運が高まる中で、健康に対するニーズも高まりが予想される。市民が誇りに思えるシティマラソンの開催に期待が寄せられると考えている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費無料という点においても、市民の誰もが気軽に参加できる大会として定着している。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高めるよい機会となっているため、現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考える。

# 事業評価シート

番号 2340980 - 009

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ少年団本部運営補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ少年団本部
実施期間	昭和41 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第34条	

## 【2.事業概要】

事業の目的	各小学校単位にあるスポーツ少年団の統括団体である岐阜市スポーツ少年団本部運営を補助する。岐阜市スポーツ少年団本部はスポーツのもつ教育的な機能を活かし、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成及び交流を目的として設立された団体であり、岐阜市の少年スポーツ活動の中核的役割を果たしている。				
事業の内容	認定員養成講習会、リーダー研修会、市スポーツ少年団大会、スポーツ少年団表彰等各種本部事業及びその運営にかかる費用の補助				
事業の対象	何を	運営補助金の交付 事務局員業務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ少年団本部			
	どのくらい (具体的 数値で)	運営補助金 1,375,000円 事務局員 260人 8,216,000円			
平成30年度 (実施内容)	市スポーツ少年団事務(年間)、総会、認定員養成講習会(2日間2回)、スポーツ少年団大会(9種目)、リーダー研修会(1泊2日)、表彰式、認定員研修会の実施				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,216	260	8,216	260	8,216	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,216	260	8,216	260	8,216	260

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,375	1,375	1,375
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	1,375	1,375	1,375
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,375	1,375	1,375

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	9,591	9,591	9,591

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	9,591	9,591	9,591

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者
受益者数	4,788	4,766	4,624
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,003	2,012	2,074

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	スポーツ少年団加入率		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	20	20	20
実績値	16.4	16.4	16.4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数		単位
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	4,100	4,100	4,100
実績値	3,425	3,414	3,296

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供しているスポーツ少年団の岐阜市本部である。 指導者、リーダーの研修、市大会等開催のため、必要である。国、県、地区に上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市内3,414名(H29年度)の団員がスポーツ少年団活動を行い、団員の心と体を育む。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供し、また指導者、リーダー候補団員への研修、大会、表彰を行っており、有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内の小学生はすべて単位団に加入する権利をもち、市内の単位団すべてに対する指導者研修課、リーダー研修会、各種目大会、表彰を行っており公平である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	スポーツ少年団は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えること、スポーツを通して心と体を育てること、スポーツを通じて人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念として活動している。現代の世の中足りない重要なことを子どもたちに与えてくれるものであり、必要である。

# 事業評価シート

番号 2340980 11

## 【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ競技会開催運営委託(岐阜市学童水泳記録会)				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市体育協会	
実施期間	昭和38年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市内の小学校5・6年生を対象に、水泳競技に対する関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的とする。				
事業の内容	4種類の泳法のうち希望する種目の記録を測定する。なお、各学校1チームによるリレーも行う。				
事業の対象	何を	水泳記録会			
	誰に (対象者・対象者数)	市内小学5・6年生の児童			
	どのくらい (具体的 数値で)	1日間、種目：自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、200mリレー			
平成30年度 (実施内容)	平成30年7月30日(月)長良川スイミングプラザにおいて、市内小中学生(5,6年)411名の参加を得て開催しました。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	608	20	539	17	349	11
嘱託職員	0		0		10	1
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>608</b>	<b>20</b>	<b>539</b>	<b>17</b>	<b>359</b>	<b>12</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		450	450	450
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	役員謝金	160	170	187
	事業消耗品費	130	110	120
	プログラム印刷費	88	90	93
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>450</b>	<b>450</b>	<b>450</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,058	989	809

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,058	989	809

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	記録会参加者	記録会参加者	記録会参加者
受益者数	463	468	411
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,285	2,113	1,968

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市内5,6年生児童7%の参加	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	476	475	469
実績値	463	468	411

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内5,6年生児童の参加率	単位	% (人)
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	7.0(476)	7.0(475)	7.0(469)
実績値	6.8(463)	6.9(468)	6.1(411)

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツの関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることができる良い機会である  市内の小学5・6年生を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であると考えます。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料のため、水泳に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会となっている。  岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市小学校体育主任会、岐阜市水泳協会などの協力を得ながら実施しているため、すべてを民間化するのは難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	水泳競技に対して興味を持ってもらうことができたため。また東京オリンピック・パラリンピックに向けて今まで以上に水泳競技に興味を持ってもらえると考えます。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費無料で水泳記録会に参加できるという点で受益者にとって有益であり、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	水泳に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会であるため、現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考えます。

# 事業評価シート

番号 2340980 12

## 【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ競技会開催運営委託(岐阜市学童陸上記録会)				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市体育協会	
実施期間	昭和38年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市内の小学校5・6年生を対象に、陸上競技に対する関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的とする。				
事業の内容	4種類の泳法のうち希望する種目の記録を測定する。なお、各学校別リレーも行う。				
事業の対象	何を	陸上記録会			
	誰に (対象者・対象者数)	市内小学5・6年生の児童			
	どのくらい (具体的 数値で)	1日間、種目:100m走、走り幅跳び、ソフトボール投げ、400mリレー			
平成30年度 (実施内容)	市内の学童を対象に、陸上への関心と記録向上への意欲を高め、体力や運動能力の向上をめざすとともに、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることを目的に開催。 市内の小学校5・6年生の児童 688名が参加。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	608	20	95	3	317	10
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>608</b>	<b>20</b>	<b>95</b>	<b>3</b>	<b>317</b>	<b>10</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		900	900	900
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	役員謝金	300	0	288
	事業消耗品費	200	15	191
	プログラム印刷費	120	207	145
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>900</b>	<b>900</b>	<b>900</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,508	995	1,217

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,508	995	1,217



**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	記録会参加者	記録会参加者	記録会参加者
受益者数	887	0(中止)	688
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,700		1,769

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	陸上記録会への案内	単位	校
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	54	54	54
実績値	54	54	54

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市内5,6年生児童の参加率	単位	% (人)
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	15.0(1021)	15.0(1020)	15.0(1004)
実績値	13.0 (887)	0(中止)	10.3 (688)

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツの関心を高め、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てることができる良い機会である  市内の小学5・6年生を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であると考えます。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料のため、陸上に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会となっている。  岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市小学校体育主任会、岐阜市陸上協会などの協力を得ながら実施しているため、すべてを民間化するのは難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	陸上競技に対して興味を持ってもらうことができたため。また東京オリンピック・パラリンピックに向けて今まで以上に陸上競技に興味を持ってもらえると考えます。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費無料で陸上記録会に参加できるという点で受益者にとって有益であり、適正である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	陸上に興味のある小学5・6年生が気軽に参加できる大会であるため、現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考えます。



# 事業評価シート

番号 2340980 013

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会運営補助金				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会
実施期間	平成30年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	生涯スポーツ、地域スポーツの推進を目的に、コミュニティづくり及び多世代が集うスポーツの場を展開できるよう研究及び実施する				
事業の内容	協議会の事業費を補助する。 市内全50地域に2名のスポーツ推進委員を配置し、地域のスポーツ振興が充実・発展するよう企画や運営を行う。委員は研修会等に参加し、地域スポーツの研究も行う。また、市の事業にも協力していただく。				
事業の対象	何を	運営費(事業費)補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会、(市民、参加者)			
	どのくらい (具体的数値で)	補助金:450,000円 (全体研修会(3回/年)、生涯スポーツ大会の実施、全国・岐阜地区等の研修会への参加等)			
平成30年度 (実施内容)	補助金:450,000円 全体研修会(3回)、ソフティバレーボール大会、ふらばーるバレーボール大会、各ブロック等での軽スポーツなどを実施。また、全国・東海四県・岐阜地区研修会への参加				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,432	80	2,536	80	2,536	80
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,432	80	2,536	80	2,536	80

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		450	450	450
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	450	450	450
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		450	450	450

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,882	2,986	2,986

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,882	2,986	2,986

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)
受益者数	3,600	3,600	3,600
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	801	829	829

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	事業開催回数	単位	回
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	15	15	15
実績値	17	20	19

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,600	3,600	3,600

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	気軽に参加できる生涯スポーツ大会を実施しており、参加者も合計3,000人を超えている。  岐阜市のスポーツ推進委員の協議会である。 国・県・地区にも上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	委員は市の非常勤職員として勤務し、そのとりまとめとして委員による協議会の事務局を市職員が行っている。  市の事業等への関連が多いことから現在の運営が効率性が高いと考えられる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	多くの生涯スポーツの大会を実施しており、市民が気軽に運動できる環境を提供している。また、研修会等を実施し、スポーツ推進委員自身の資質向上に努め、市民に還元できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	委員は市内50地域に2名づつ配置され、各地域で体育振興会等と協力し、スポーツ推進を行われている、またその他市の事業の運営にも協力いただいております、全市民に対しサービスが行われており、公平性は高い。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	生涯スポーツの推進に寄与しているため、今後も進めていく。

# 事業評価シート

番号 2340980 014

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会運営補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会
実施期間	昭和55年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者の資質向上のため、岐阜市スポーツ指導員連絡協議会の運営を補助する。				
事業の内容	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務、全体研修会(2回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力				
事業の対象	何を	運営補助金 事務局事務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会			
	どのくらい (具体的 数値で)	運営補助金 52,000円 事務局事務 50人 1,580,000円			
平成30年度 (実施内容)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務、全体研修会(2回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,580	50	1,580	50	1,580	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	1,580	50	1,580	50	1,580	50

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		52	52	52
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	52	52	52
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		52	52	52

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,632	1,632	1,632

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,632	1,632	1,632

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者
受益者数	7,000	7,000	7,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	233	233	233

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	研修会の実施		回
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	スポーツ教室等受講者、イベント参加者		人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	7,000	7,000	7,000
実績値	7,000	7,000	7,000

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	体育館スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者への研修会を実施しており、指導者としての資質向上のために必要である。  市独自の事業である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者の資質向上のため、効果は高い。  業務量、業務期間(業務量は少ないが、年間を通して事務局事務がある)から見ると、委託よりは職員が行うことが効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	日本体育協会等指導者資格をお持ちでない、スポーツ教室等の指導者に向け、指導者としての資質向上のための研修をしており、スポーツ教室等を質を向上させている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	研修会等を受ける指導者は市のスポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等の指導者をされている方が多く、またそれらの教室等は市民すべてに受講する資格があるため、公平である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市のスポーツ教室等の指導者の資質の維持、向上のため必要である。

# 事業評価シート

番号 2340980 016

## 【1.基本情報】

事業名	地域体育振興事業補助金				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	各地域体育振興会等
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。	
事業の内容	各地域で行う事業(グラウンドゴルフ大会、市民運動会)に対し補助金を交付する。	
事業の対象	何を	運営補助金
	誰に (対象者・対象者数)	市内50地域の体育振興会
	どのくらい (具体的 数値で)	各地域 34,500円～39,900円(世帯数による)
平成30年度 (実施内容)	市内47団体に運営補助金を交付	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	912	30	951	30	951	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	912	30	951	30	951	30

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,762	1,767	1,762
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	1,762	1,767	1,762
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,762	1,767	1,762

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,674	2,718	2,713

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,674	2,718	2,713

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市内各世帯	市内各世帯	市内各世帯
受益者数	165,443	165,443	165,443
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	16	16

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金案内送付地域数	単位	地域
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	50	50	50
実績値	50	50	50

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	補助金交付地域数	単位	地域
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	50	50	50
実績値	47	47	47

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康増進及び相互交流のため必要である。  市しか支援できない。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市内各50地域の体育振興会が各地域に合った事業を自主的に行い、市がその資金の一部を補助しており効率的である。  市は支援する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	47地域の体育振興会から申請があり、各地域でスポーツイベントを実施した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内全50地域(全市民)を対象としており公平性は高い。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の健康増進及び相互交流のため有効で継続していくことがよいと考えられる。

# 事業評価シート

番号 | 2340980 | 019

## 【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業～春のスポレク祭&秋の健幸スポーツターム～				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
実施期間	平成30年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	誰もが気軽に親しむことのできる軽スポーツの啓発・普及促進のための大会、イベントの実施				
事業の内容	春に「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、9月に「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、11月に「健幸エンジョイ・スポーツDAY」を実施する。				
事業の対象	何を	開催負担金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、市民、参加者			
	どのくらい (具体的な数値で)	開催負担金:1,630,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、「健幸エンジョイ・スポーツDAY」)			
平成30年度 (実施内容)	開催負担金:1,630,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(11種目)、「やまなみジョギング・ウォーキング大会」、「健幸エンジョイ・スポーツDAY」)				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	1,520	50	1,585	50	1,585	50
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>1,520</b>	<b>50</b>	<b>1,585</b>	<b>50</b>	<b>1,585</b>	<b>50</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,688	1,413	1,100
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	負担金	1,688	1,413	1,100
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>1,688</b>	<b>1,413</b>	<b>1,100</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	3,208	2,998	2,685

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	3,208	2,998	2,685



**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	事業参加者	事業参加者	事業参加者
受益者数	3,198	3,348	3,135
受益者負担額(千円)	769	968	805
受益者負担率(%)	24.0%	32.3%	30.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,003	895	856

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	事業開催回数	単位	回
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	3	3	3
実績値	3	3	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	3,000	3,000	3,000
実績値	3,198	3,348	3,135

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施しているため  実行委員会(スポーツ推進委員、スポーツ指導員、各競技団体、市民体育課)で実施しているため
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現在、各軽スポーツ種目の協会にご協力いただき、実行委員会を作り、市が事務局を行い運営している。 またやまなみ、健幸エンジョイではボランティアにもご協力いただいている。  現運営が一番効果的であると考えます。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	合計3,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントであるため。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全市民に参加資格があり公平である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	イベントの周知方法等、見直しを図っていく

# 事業評価シート

番号 2340980 - 21

## 【1.基本情報】

事業名	学校体育施設開放事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	開放運営委員会	
実施期間	昭和50年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市立学校等の体育施設の開放に関する規則	

## 【2.事業概要】

事業の目的	地域住民が気軽にスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする。また、地域住民同士の交流の場として活用する事業であり、それに伴う事務手続きを円滑に行うための委託である。				
事業の内容	学校体育施設のスポーツ開放				
事業の対象	何を	学校体育施設開放			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的数値で)	学校等体育館、運動場、格技場			
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校等体育施設(運動場69校、体育館70校、格技場12校)の夜間開放業務委託</li> <li>県立学校体育施設3校の夜間開放運営業務</li> </ul>				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	7,904	260	8,242	260	8,242	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>7,904</b>	<b>260</b>	<b>8,242</b>	<b>260</b>	<b>8,242</b>	<b>260</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	謝金	39,813	40,001	40,187
	電気料	35,203	20,636	20,239
	照明灯修繕費	1,997	1,068	2,103
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>80,316</b>	<b>65,108</b>	<b>67,408</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	88,220	73,350	75,650

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	21,598	20,069	22,272
その他			
<b>計(F)</b>	<b>21,598</b>	<b>20,069</b>	<b>22,272</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	66,622	53,281	53,378

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	522,452	509,217	509,690
受益者負担額(千円)	21,598	20,069	22,272
受益者負担率(%)	24.5%	27.4%	29.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	128	105	105

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開放施設数	単位	箇所
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	77	78	78
実績値	77	78	78

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	学校等体育施設利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	550,000	550,000	550,000
実績値	522,452	509,217	509,690

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域住民がスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする現状利用率は高い。  岐阜市所管施設のため市で担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	既存の学校施設を使用しているため、維持管理等に費用はあまりかからない。  岐阜市所管施設のため市で担う必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	老若男女さまざまなスポーツに取り組みスポーツ振興につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者には電気代相当分を負担しており学校体育施設開放の特性を考慮すると適正。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	スポーツ振興並びに地域貢献を実施している。

# 事業評価シート

番号 2340980 23

## 【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和58年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する				
事業の内容	島西運動場、則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場管理運営委託 柳津3施設管理運営				
事業の対象	何を	屋内体育施設			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	則松球場、島西運動場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場、柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場			
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場を各地域に管理清掃業務委託</li> <li>・島西運動場 運営管理業務委託</li> <li>・各施設の不良箇所を修繕・工事 ・各施設の樹木管理</li> </ul>				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,040	100	3,040	100	3,040	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	工事請負費	14,319	82,910	1,774
	委託料	14,951	12,262	13,478
	需用費	6,634	4,863	2,376
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>36,932</b>	<b>101,443</b>	<b>17,730</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	39,972	104,483	20,770

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	4,627	4,536	4,286
その他		16,000	
<b>計(F)</b>	<b>4,627</b>	<b>20,536</b>	<b>4,286</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	35,345	83,947	16,484

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	190,245	174,552	185,911
受益者負担額(千円)	4,627	4,536	4,286
受益者負担率(%)	11.6%	4.3%	20.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	186	481	89

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設数	単位	箇所
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	10	10	10
実績値	10	10	10

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	200,000	200,000	200,000
実績値	190,245	174,552	185,911

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康志向や東京オリンピック等でスポーツに関心が高まっている。  管理については、地域が主体的に動いている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	運動場の照明をLEDに変更するなど導入費用はかかるが電気代等を考えると、導入によって得られる効果が極めて高い。  市の施設であり、直営が最も効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている

# 事業評価シート

番号 2340980 25

## 【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
総合計画政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団 (株)技研サービス	
実施期間	平成29年度～	令和3年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育館条例、岐阜市プール条例	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
事業の内容	屋内体育施設の整備、管理及び工事他	
事業の対象	何を	屋内体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	体育館10館(H28年度までもえぎの里多目的体育館のみ直営)、市民プール3箇所
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内体育館、プールを指定管理、もえぎの里トレーニングルーム管理業務委託</li> <li>市内体育館、プールを工事・修繕、備品の補充</li> <li>スポーツ教室・体育館デー</li> </ul>	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額(見込)	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	20,208	685	3,040	100	3,040	100
嘱託職員	11,817	1,170	7,956	780	7,956	780
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	32,025	1,855	10,996	880	10,996	880

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	262,587	287,489	272,832
	工事請負費	48,025	89,300	104,375
	需用費	10,154	11,660	5,609
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		341,666	395,000	350,000

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	373,691	405,996	360,996

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	100,977	110,381	117,198
その他	52,529	51,525	48,645
計(F)	153,506	161,906	165,843

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	220,185	244,090	195,153

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	682,846	696,275	681,270
受益者負担額(千円)	51,212	49,086	51,714
受益者負担率(%)	13.7%	12.1%	14.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	322	351	286

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	700,000	650,000	700,000
実績値	682,846	630,000	681,270

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	稼働率	単位	%
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	90	90	90
実績値	90.94	88.25	88.61

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。  民間のノウハウを取り入れた運営の方が利用者のニーズに合っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。  民間活用しており、最も効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	民間のスキルを取り入れた事業計画の提案があり将来的に効果が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	妥当である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから現状維持が望ましいと判断する。



# 事業評価シート

番号 2340980 26

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市公共施設予約システム事業				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市公共施設予約システム利用に関する 規則	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境が整備されていることが望ましい。スポーツ施設の利用に関する情報の入手場所が限定されていたり、あるいは入手の手続きが煩雑であるといった問題を解決する必要がある。				
事業の内容	市内の有料スポーツ施設(屋内外)を、インターネット・携帯電話で利用申請できるシステムの運用。				
事業の対象	何を	スポーツ施設予約システム			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	インターネット・携帯電話での申請を提供する。			
平成30年度 (実施内容)	市内の有料スポーツ施設(体育館10箇所、野球場3箇所、テニスコート8箇所、サッカー・ラグビー場2箇所、多目的運動場6箇所、スポーツ交流センター)をインターネット利用し、パソコン・携帯電話から予約可能とした。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,040	100	3,170	100	3,170	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>	<b>3,170</b>	<b>100</b>	<b>3,170</b>	<b>100</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		4,391	4,598	4,386
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	管理運用業務委託料	3,864	4,079	3,864
	事務処理委託料	264	256	259
	事務機器借上料	263	263	263
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>4,391</b>	<b>4,598</b>	<b>4,386</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,431	7,768	7,556

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,431	7,768	7,556

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	477	395	333
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15,579	19,666	22,691

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者カード登録累計数	単位	枚
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	9,500	10,000	10,500
実績値	9,641	10,036	10,369

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	800,000	800,000	800,000
実績値	867,044	897,238	807,531

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が自宅に居ながら自由な時間に積極的にスポーツ施設を予約する事ができる。 施設使用料が口座引き落としのため収入金額の管理が容易である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民が計画的に施設を活用する事ができる。 申請書を入手できる場所が限られているため利用者に不便をかけている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年、新たなシステム登録数は増えていないが施設利用者数は増えている事から何度も利用される方が増えていると思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者カードを作成する費用は掛からないが、抽選予約のため休日は予約が取れないとの意見もいただく。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ施設を気軽に活用する方法として、一定の成果があり、今後も維持管理が必要。

# 事業評価シート

番号 2340980 28

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市ゴールデンジュニアスポーツプラン				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市体育協会	
実施期間	14 年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

## 【2.事業概要】

事業の目的	市内小中学生を対象に、市内にある体育施設等を利用して、優れた指導者の下で競技人口の拡大と競技力の向上を目指す。また、「東京オリンピック・パラリンピック ターゲットエイジ事業」の一環としても本事業を位置付ける。	
事業の内容	ジュニアスポーツクラブは、卓球・バドミントン・ソフトテニス・陸上・柔道・体操・剣道・サッカーの8競技のクラブ活動及び、社会人野球チームによる中学生対象の野球教室を実施する。 アビリティアップクラブは、ホッケー・自転車・レスリング・相撲・ビームライフル・硬式テニスの6競技のクラブ活動を実施する。	
事業の対象	何を	小中学生が参加するスポーツクラブを開催する。
	誰に (対象者・対象者数)	受講を希望する市内小中学生(募集学年は競技によって異なる)
	どのくらい (具体的 数値で)	ジュニアスポーツクラブは年間15回(野球のみ5回) アビリティアップクラブは年間35回
平成30年度 (実施内容)	ジュニアスポーツクラブは、7月から3月にかけて計9競技を実施し、1,048名が受講した。 アビリティアップクラブは、6月から3月にかけて計6競技実施し、53名が受講した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,128	70	2,219	70	2,219	70
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,128	70	2,219	70	2,219	70

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		6,132	6,128	6,001
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	謝金	4,261	4,700	4,535
	備品	1,031	494	816
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		6,132	6,128	6,001

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	8,260	8,347	8,220

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	921	855	891
計(F)	921	855	891

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	7,339	7,492	7,329

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	各競技受講者	各競技受講者	各競技受講者
受益者数	1,238	1,176	1,101
受益者負担額(千円)	920	890	891
受益者負担率(%)	11.1%	10.7%	10.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,928	6,371	6,657

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	競技数	単位	競技
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	16	16	15
実績値	16	16	15

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	1,238	1,176	1,101

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	例年、定員を大幅に超える申込があるほどニーズが高く、広くスポーツの振興、普及に寄与している。 市内の全小中学生にチラシを配布しているため、岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、岐阜市が取り組むのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	アビリティアップは無料、ジュニアスポーツは1000円と市内小中学生の誰もが参加できる教室となっている。 市内の小中学生を対象としているためすべてを民間化にすることは難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	この事業をきっかけに、現在、トップレベル(東京オリンピック代表候補、世界選手権、ジュニアワールドカップ等)で活躍する選手がいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	15回で1000円は安いという声もあることから、今後金額を検討していく必要がある。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	各種目競技者の裾野の拡大及び競技力の向上に役立っているため。

# 事業評価シート

番号 2340980 030

## 【1.基本情報】

事業名	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会
実施期間	平成23年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	全国からランナーが集まるマラソン大会 競技力の向上及び市民のスポーツ振興に寄与することを目的として開催している	
事業の内容	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会(岐阜県・岐阜市・中日新聞社・岐阜陸上競技協会・岐阜県体育協会)が主催し、ハーフマラソン及び3kmが行われ、約1万人のランナーが市内を走る大会である。	
事業の対象	何を	開催負担金
	誰に (対象者・対象者数)	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、市民、参加者
	どのくらい (具体的 数値で)	マラソン大会(ハーフマラソン、3km)、負担金6,000,000円
平成30年度 (実施内容)	4月28日(日)に開催、負担金6,000,000円	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,816	290	9,193	290	9,193	290
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,816	290	9,193	290	9,193	290

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		6,000	6,000	6,000
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	負担金	6,000	6,000	6,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		6,000	6,000	6,000

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	14,816	15,193	15,193

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	14,816	15,193	15,193

【6.コストバランス】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	11,482	11,524	11,296
受益者負担額(千円)	80,049	77,665	83,374
受益者負担率(%)	540.3%	511.2%	548.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,290	1,318	1,345

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	10,000	10,000	10,000
実績値	11,482	11,524	11,296

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	沿道応援人数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	90,000	90,000	90,000
実績値	105,000	110,000	100,000

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	世界のトップランナーと約1万人の市民ランナーが走る大会である。また、沿道での応援も多く、市民のスポーツ振興に寄与している。  岐阜市内を走る大会である
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	実行委員会(中日新聞、岐阜県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、岐阜県体育協会)で実施しており、各団体がそれぞれ必要な業務をしているため、他の方法は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年申込みがすぐ定員に達するなど参加者の満足度は高く、また応援者、ボランティアの方々の満足度も高く有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市の中心部での事業ということで市民は参加しやすく、また参加しない市民にも世界のトップレベルのマラソンを感じ取れる機会を提供できるため公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	競技スポーツ、生涯スポーツの両方の観点を兼ね備えた大会であり、スポーツ振興に大きく寄与しているため。

# 事業評価シート

番号 2340980 31

## 【1.基本情報】

事業名	中学校運動部活動強化事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

## 【2.事業概要】

事業の目的	運動部が「夢」や「志」をもって部活動に取り組める環境の充実を図り、一人でも多くの選手がさらに上の大会を目指し羽ばたいていけることを目的としている。				
事業の内容	中学校運動部活動に対し、合宿・遠征等の強化を目的とした活動の際に必要な経費を補助する。				
事業の対象	何を	中学校運動部活動強化補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	運動部が設置されている岐阜市立中学校及び特別支援学校中学部で設立された運動部活動強化プロジェクト委員会			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助対象経費の2分の1の額。ただし補助額の上限は200,000円			
平成30年度 (実施内容)	参加校数9校、補助金の合計金額は848,442円であった。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	91	3	95	3	95	3
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	91	3	95	3	95	3

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		1,610	1,442	848
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	中学校補助金	1,610	1,442	848
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		1,610	1,442	848

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,701	1,537	943

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	1,701	1,537	943



**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会
受益者数	14	11	9
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	121,514	139,736	104,789

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	本事業の案内	単位	校
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	22	22	22
実績値	22	22	22

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	本事業を活用した校数	単位	校
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	14	14	12
実績値	14	11	9

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	働き方改革により土日両日の部活動が行われなくなり、合宿などができなくなり本事業の補助金を申請する学校は減ったが、遠征や強化練習など継続して申請する学校もあった。  市内の市立中学校運動部活動を対象とした補助のため、岐阜市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	合宿や遠征でかかった費用の半額を負担することで中学校の負担が少なくなるので、合宿や遠征に行きやすくなる。  他に効率的な方法がない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	活用した中学校から全国大会に出場した選手がでるなど効果はあると考える。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の市立中学校運動部活動に呼びかけ、機会を設けている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	合宿での申請は減ったが、遠征や強化練習などの申請は継続して申請する学校が多かった。 従って、事業は現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考える。

# 事業評価シート

番号 2340980 32

## 【1.基本情報】

事業名	スポーツリーダー活用事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成25年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

## 【2.事業概要】

事業の目的	スポーツリーダー等を学校行事やスポーツ教室等へ派遣し、直接話を聞いたり指導を受けたりすることのできる機会づくりを支援することを通して、子どもをはじめとする市民に夢や希望をもたせ、運動・スポーツを積極的に行おうとする意欲と実践的態度をはぐくみ、体力の維持・向上を図る。	
事業の内容	各団体へ国体で活躍したスポーツ選手や県体協スポーツリーダーバンクに登録している指導者等を派遣し、講話や実技指導の機会をもつ。	
事業の対象	何を	指導者への謝金
	誰に (対象者・対象者数)	市内小中学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等
	どのくらい (具体的数値で)	1団体10回を上限とする
平成30年度 (実施内容)	指導者を128人派遣した。	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員		3		3		3
嘱託職員						
アルバイト						
計(A)	0	3	0	3	0	3

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	FC岐阜	276	324	354
	その他の指導者	378	390	414
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		654	714	768

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	654	714	768

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	654	714	768

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市内の団体	市内の団体	市内の団体
受益者数	1,976	2,359	3,278
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	331	303	234

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	市内団体への案内	単位	団体
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	125	125	125
実績値	125	125	125

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	指導者派遣数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	110	110	110
実績値	109	119	128

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	優秀な指導者から指導をしてもらえる機会をつくるという点 が有益である。  岐阜市民に対する事業なので市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各団体は無料で優秀な指導者から指導されるので費用対効果 は高いと考える。  他に効率的な方法がない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	FC岐阜と連携を図りサッカー教室などをしており、毎年多くの 団体から申し込みが来ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の各団体(市内の全小・中学校、特別支援学校、スポーツ 少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等)に呼び かけ、機会を設けている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状 維持	今後も多くの申し込みが見込まれ、また岐阜市で支援している チーム(サッカー:FC岐阜、バスケット:GIFU SWOOPS、バレー:JAぎふ リオーナ)との連携を図りながら教室を開講することも検討してい るため現状維持。

# 事業評価シート

番号 2340980 33

## 【1.基本情報】

事業名	「FC岐阜」連携推進				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	(株)岐阜フットボールクラブ	
実施期間	平成21年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図ります				
事業の内容	1、FC岐阜活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデー市民交流推進事業、シティプロモーション事業 2、FC岐阜スポーツキャラバン運営業務委託事業 ・キャラバン教室、岐阜市スポーツ交流センター活用交流事業				
事業の対象	何を	FC岐阜を活かした市民スポーツ推進活動			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	ホームタウンデー:1回 ・スーパーシート:7試合 ・シティプロモーション:2回 ・キャラバン教室:150回 ・交流センター活用交流事業:47回			
平成30年度 (実施内容)	ホームタウンデー:1回 ・スーパーシート:7試合 ・シティプロモーション:2回 ・キャラバン教室:150回 ・交流センター活用交流事業:47回 実施した。				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	395	13	539	17	380	12
嘱託職員	10	1	10	1	21	2
アルバイト	0		0		0	
計(A)	405	14	549	18	401	14

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		25,000	25,000	25,000
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	FC岐阜活用事業	19,500	19,600	18,700
	FC岐阜 スポーツキャラバン	5,500	5,400	6,300
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		25,000	25,000	25,000

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	25,405	25,549	25,401

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	25,405	25,549	25,401

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	62	62	62

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ホームタウンデーチラシ配布	単位	枚
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	54,000	54,000	54,000
実績値	54,000	54,000	54,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	ホームタウンデー来場者数(岐阜市民のみ)	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	3,000	3,500	3,500
実績値	4,617	6,052	3,310

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民がトップスポーツの試合を「観る」ためにFC岐阜を活用することは、試合観戦者の実績値からも、スポーツの推進を図るという点でニーズに合っている。 FC岐阜を活かしてスポーツ推進活動をするために、岐阜市に在住、在勤、在学の方がトップスポーツの試合を「観る」ことは、市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民には無料でホームゲームが観ることで、スポーツ推進活動を促進、家族の絆を高揚、外食、公共交通機関の利用等の費用対効果が高いと考える。 市が行う方が最も効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	ホームタウンデーでは目標値よりも多くの市民の方が来場されたり、スーパーシートやキャラバン教室など当選人数・施設を大幅に超える申し込みがあったりすることから、非常に効果があると考えられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市に在住、在勤、在学する全ての方を対象とし、機会を与えている。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	来場者数の実績値から見ても、多くの方に需要があるので現状維持で行う必要がある。

# 事業評価シート

番号 2340980 34

## 【1.基本情報】

事業名	岐阜市強化指定選手補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市教育委員会
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

## 【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市が指定する将来有望な強化選手に対して支援をすることにより、オリンピック・パラリンピック出場を目指すアスリートのスポーツに取り組む環境を整える。				
事業の内容	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める有望な選手に対して補助金を交付する				
事業の対象	何を	強化指定補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める選手10名			
	どのくらい (具体的 数値で)	1人あたり300,000円を上限			
平成30年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今井 月選手(競泳)・橋本 優弥(自転車)・五藤 怜奈選手(陸上)・鈴木 健太(フェンシング)</li> <li>・清水 綾乃選手(ライフル)・松原 梨恵選手(新体操)・小長谷 研二選手(競泳)</li> <li>・篠原 貴史選手(障害者水泳)・二ノ宮 寛斗選手(レスリング)・渡邊 翔太郎選手(自転車)</li> </ul>				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	30	1	32	1	32	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	30	1	32	1	32	1

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		2,400	2,879	2,847
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金	2,400	2,879	2,847
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		2,400	2,879	2,847

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,430	2,911	2,879

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	2,430	2,911	2,879

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	指定選手	指定選手	指定選手
受益者数	8	10	10
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	303,800	291,070	287,870

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	指定人数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	8	10	10
実績値	8	10	10

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	オリンピック出場者	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	3	0	0
実績値	4	0	0

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	オリンピックが近づき、スポーツへの関心が高まる中岐阜市縁の選手の出場を補助することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。  岐阜市縁の選手を補助する故に、市に縁のある者がすべきであるし、補助事業を民間で行うことは難しいと思われる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	予算に限りがあるため、1人あたり300,000円ではあるが、強化指定選手に指定されたという自負が選手にも生まれ、競技に対する意識の向上につながる。  競技ごと、選手ごとに競技力の向上に必要な備品、消耗品は異なり、対応するためには補助金の支給が一番効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	平成28年に強化指定された選手8名のうち、4名がリオオリンピックに出場し、1名が金メダルを獲得するという結果を残し、岐阜市全体の活力高揚を感じることができた。この調子で東京オリンピック・パラリンピックでも多くの選手が出場、活躍し、市民の活力が向上することを見込んでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	強化指定選手の選考には、岐阜市の各競技協会等とスポーツ有識者等による検討を重ねた上で決定され、公平性には問題はないと思われる。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善	岐阜市に縁のあるトップアスリートは他にも多くおり、オリンピック出場も狙える選手が指定されていないというのも現状である。 予算を拡大し、強化指定選手の枠を増やすことが求められる。



# 事業評価シート

番号 2340980 035

## 【1.基本情報】

事業名	平成30年度全国高等学校総合体育大会岐阜市実行委員会運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市教育委員会
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	教育活動の一環として高等学校(中等教育学校後期課程を含む)生徒に広くスポーツ実践の機会を提供し、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動を含めて生徒相互の親睦を深め、健全な青少年を育成することを目的とする。	
事業の内容	平成22年度の沖縄県までは、県単独開催されてきたが、平成23年度より全国を9つの地域(北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州)に分けて、ブロック開催として実施。平成30年度には、東海ブロック(三重県・愛知県・静岡県・岐阜県)にて開催し、本市では空手道とボクシングの2競技を開催。	
事業の対象	何を	運営補助金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市実行委員会
	どのくらい (具体的 数値で)	補助金:13,375,591円
平成30年度 (実施内容)	補助金:13,375,591円 「ボクシング」並びに「空手道」両競技に係る各種契約、関係機関との調整など、大会準備及び大会運営を実施	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		49,452	1,560	50,720	1,600
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	49,452	1,560	50,720	1,600

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
			473	13,376
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	補助金		473	13,376
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	473	13,376

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	49,925	64,096

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			2,177
県支出金		1,000	25,903
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	1,000	28,080

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	0	48,925	36,016

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者			岐阜市開催2競技参加選手数
受益者数			1,172
受益者負担額(千円)			0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			30,730

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開催日数	単位	日
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			8
実績値			8

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	来場者数(観客含む)	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値			30,000
実績値			34,846

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	高等学校最大のスポーツの祭典であり、教育活動の一環としての意味合いも深く、必要である。  昭和38年度から開催の歴史が深い大会である。競技開催市町が競技運営を担っている。
<b>効率性</b> (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	公共性の高い大会であることから、民間委託等は困難である。  他に効率的な方法はない。
<b>有効性</b> (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	2年後に迫った東京オリンピックに向けた弾みの大会となるよう円滑な大会運営ができた。
<b>公平性</b> (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	参加選手等から徴収する参加料は、全国高体連競技ごとで定めた一律料金である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	廃止	大会の終了に伴い、実行委員会が解散したため。

# 事業評価シート

番号 2340980 \_ 36

## 【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
総合計画政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成27年度2月～		根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ交流センター条例 岐阜市スポーツ交流センター条例施行規則	

## 【2.事業概要】

事業の目的	スポーツにより市民の心身の健康を保持増進し、スポーツを通じた市民の交流を促進する				
事業の内容	岐阜市スポーツ交流センターの管理運営				
事業の 対象	何を	屋内体育施設			
	誰に (対象者・対 象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	岐阜市スポーツ交流センター			
平成29年度 (実施内容)	施設の管理運営				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額(見込)	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	9,393	930	9,486	930	9,486	930
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,393	930	9,486	930	9,486	930

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	16,886	1,670	4,317
	工事請負費	0	0	0
	需用費	0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
	9,393	9,486	9,486

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	1,223	1,814	3,152
その他	0	432	77
計(F)	1,223	2,246	3,229

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	8,170	7,240	6,257

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	420,000	420,000	420,000
受益者負担額(千円)	1,223	1,814	3,152
受益者負担率(%)	13.0%	19.1%	33.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	19	17	15

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	10,000	15,000	15,000
実績値	11,035	16,812	16,607

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数の増加	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	10,000	15,000	15,000
実績値	11,035	16,812	16,607

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。  同施設の一部をFC岐阜が利用することから、指定管理施設として委託することは現時点では困難である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	費用対効果は高いと考えている。  現時点では、直営による運営が最善であると判断している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	トレーニング機器が充実しており、さらなる利用者の増加が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者負担もあり、妥当である。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから現状維持が望ましいと判断する。

# 事業評価シート

番号 2340980 37

## 【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	教育委員会	担当課名	市民体育課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐南町	
実施期間	昭和58年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

## 【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
事業の内容	厚八運動場、厚八テニスコート指定管理	
事業の対象	何を	屋外体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	厚八運動場、厚八テニスコート
平成30年度 (実施内容)	厚八運動場、厚八テニスコートを岐南町へ指定管理 施設・設備の維持管理	

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成28年度決算額		平成29年度決算額		平成30年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,040	100	3,040	100	3,040	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
<b>計(A)</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>	<b>3,040</b>	<b>100</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
		2,217	2,218	2,218
直接事業費の主な内訳		平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
項目	委託料	2,217	2,218	2,218
減価償却費【施設管理】※(C)		平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>2,217</b>	<b>2,218</b>	<b>2,218</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	5,257	5,258	5,258

## 【4.収入】

収入内訳	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
<b>計(F)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)
	5,257	5,258	5,258

**【6.コストバランス】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	24,724	20,559	27,182
受益者負担額(千円)	223	394	281
受益者負担率(%)	4.2%	7.5%	5.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	213	256	193

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	25,000	25,000	25,000
実績値	24,724	20,559	20,000

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用料収入	単位	円
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	223,300	394,010	300,000

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。  敷地内は岐阜市と岐南町の土地が混在している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。  この方法が最も効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正。
<b>【総合評価】</b> (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている。